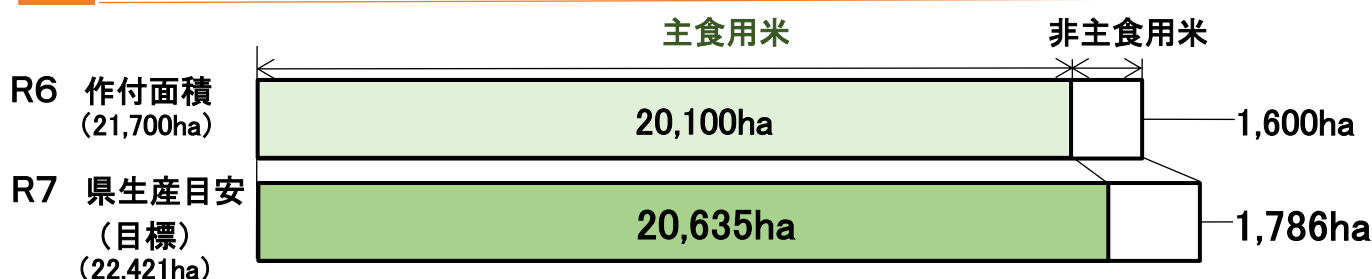


令和7年産主食用米・非主食用米の「県域の生産目安(目標)【確定値】」

国や県の需要動向等を参考に令和7年産の「主食用米・非主食用米の生産量・面積の目安(目標)【確定値】」を算定しました。

	主食用米	加工用米	飼料用米	米粉用米	WCS用稲	その他	水稻計
生産量	108,956t	1,915t	2,665t	569t	-t	291t	114,396t
面積換算値	20,635ha	363ha	505ha	108ha	755ha	55ha	22,421ha

令和7年産の推進の方向



《主食用米》

県内の主食用米需要量は、令和6年産の生産量を超えています。県内の主食用米作付面積は年々減少しており、令和6年産は令和5年産に対し400haと、大幅に減少しました。

県民に安定的に県産米を提供していくためには、需要に応じた生産を継続し、生産体制を維持することが求められています。

R7生産の目安(目標)	R6作付面積	差
20,635ha	20,100ha	+535ha

《非主食用米》

飼料用米の需要は、県内事業者の需要に応じ拡大しています。需要に基づいた生産に取り組むことが重要です。

用途	R7生産の目安(目標)	R6作付面積	差	主な取組地域	取組の内容等
加工用米	363ha	358ha	+5ha	北広島、安芸高田、庄原、三次、三原、世羅地域	・県内事業者の需要に応じ微増(+5ha)
WCS用稲	755ha	740ha	+15ha	庄原、北広島、三原、三次、神石高原、東広島地域	・県内事業者の需要に応じ拡大(+15ha)
飼料用米	505ha	354ha	+151ha	北広島、三原、庄原、三次、東広島、世羅地域	・県内事業者の需要に応じ拡大(+151ha)